

観峰館所蔵品を鑑賞しよう(7)

おうどうわ

翁同龢の楷書

観峰館オンライン講座 第25回

令和4年2月24日(木)午前10:00~10:45

古橋慶三

華陰居士古陳搏手弄梅花
歲寒斗世雄心磨劍具一燈
眼借書看燈山臨水年已別
婦男事已難賴有九天閑話
情迤邐酒杯寬
桑瓶水齋後
辛丑十二月 瓶廬翁同錄



清敬先生其一
錢以應琴鶴是家傳誰
知點鼓無絃曲時向珠宮舞
幻仙醜石寒松未易親聊將短曲
調長人乘軒故自非明眼快日傲
舞藥新若耶溪水雲門寺賀藍
荷花空自開我恨今猶在泥滓
勸君莫掉酒杯回唐李益
辛丑十二月 瓶廬翁同錄

古宜二兄
大華奇觀萬古積雪

廣後妙

君子愛人齊乎衆欲

志士脩業所恃一誠

世路經多蜀道平

韓明
真二百
陽西門儉元節二百
相史會周乾伯德三百

京兆尹勅臨都水掾霸陵杜
遺書佐新豐郭香察書郭
即鄆公脩蘇張工郭君

希徑鋤綠野

麓絲大布之衣糲糶
倉蓬戶第宇棧樞甍

留露釀黃花

尚書五教君隆其恩
愷悌君垂其仁

此碑以東望潤色四字今者為
東拓以張居之請以寬紅為年
故樂善之 辛丑法 翁同錄

1、翁同龢の人物について



翁同龢 肖像

翁同龢 肖像



せいほ

字は声甫。

しゅくへい いんさい しょうぜん

叔平、韻齋、松禅、晩年は

へいろ へいせい

瓶蘆、瓶生などと号しました。

翁同龢 肖像



江蘇蘇州常熟

1830年（道光十年）生

1904年（光緒三十年）七十五歲沒

翁同龢 肖像



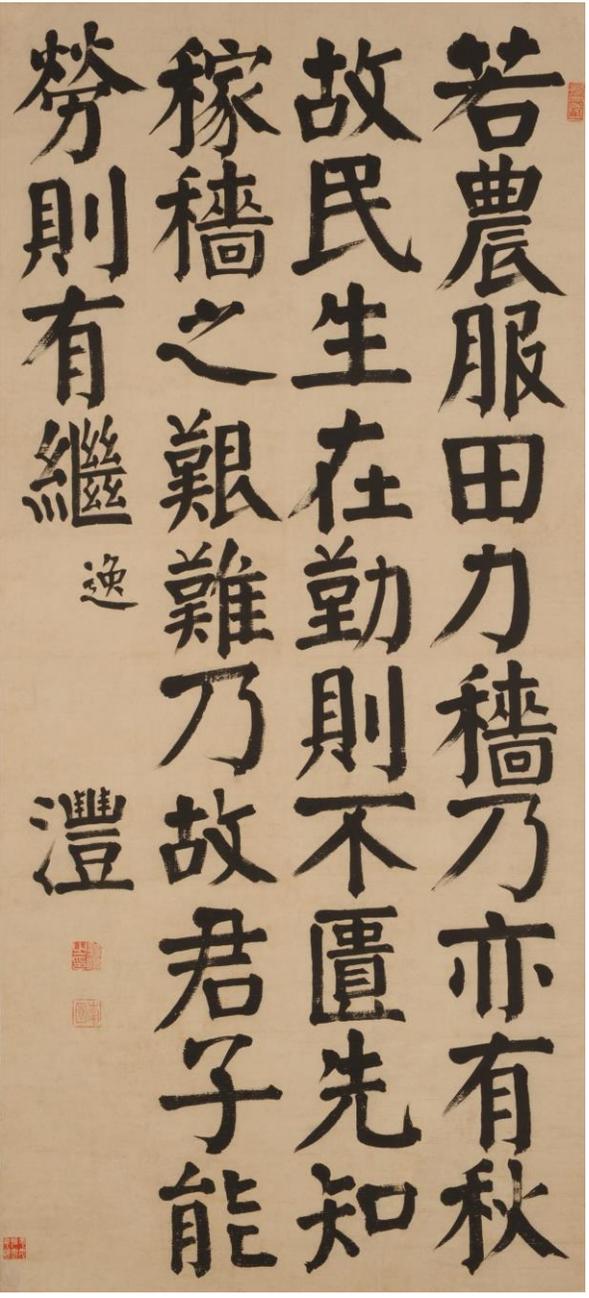
清末に大臣を歴任した大官としての功績が大きい。その書は顔真卿を基礎としつつも自由闊達で、伝統と進取を兼ね備えている。

翁同龢 肖像



錢澧を介して顔真卿を学び、晩年には金石碑版も兼習した。また、同じく顔真卿を基礎とする何紹基とも交流し、その影響を受けたという。

※ 錢灃は、乾隆時代の高官。書家。剛直な性格で直言をはばからなかった。その性格ゆえか、剛直の士であつた顔真卿の書法を徹底的にならつた。



翁同龢關連年表

咸豐帝	慈禧皇太后	同治帝	光緒帝	翁同龢	事項	作品編年
(側妃 西太后)	(西太后)	(西太后的子)	(西太后的甥)			(?は制昨年不詳)
1831生 ↓ 1861没	1831生 ↓ 1908没	1856生 1861即位 ↓ 1875(19歳)没	1871即位(4歳) ↓ 1887~親政 ↓ 1908没	1830生 ↓ 1856 27歳 ↓ 1868 38歳 ↓ 1882 52歳 ↓ 1895 65歳 ↓ 1898 68歳 ↓ 1904没 75歳	状元 国子監祭酒 同治・光緒帝師傅 軍機大臣 總理大臣 失脚 帰郷	? 高風対聯 1870行書团扇 ? 行書四屏 ? 行書蘇軾答范夢詩 1882書冊三品 ? 君子対聯 1889行書横披 ? 寿一字 ? 太華対聯 ? 尊俎楷書対聯 ? 人情行書対聯 ? 帯径行書対聯 1901瓶水齋語行書軸 1901張遷碑四屏

清朝滅亡

1911

2, 翁同龢の楷書作品

翁同龢の楷書作品

君子愛人齊乎衆欲

志士脩業所恃一誠

尊俎千峰笙簧萬籟

寅生大兄大雅屬書

漁獵三史紛綸六經

瓶生翁同龢

君子楷書對聯



制作年不詳 (50歲代頃?)

162.

5x

32.

6cm

壯年期)



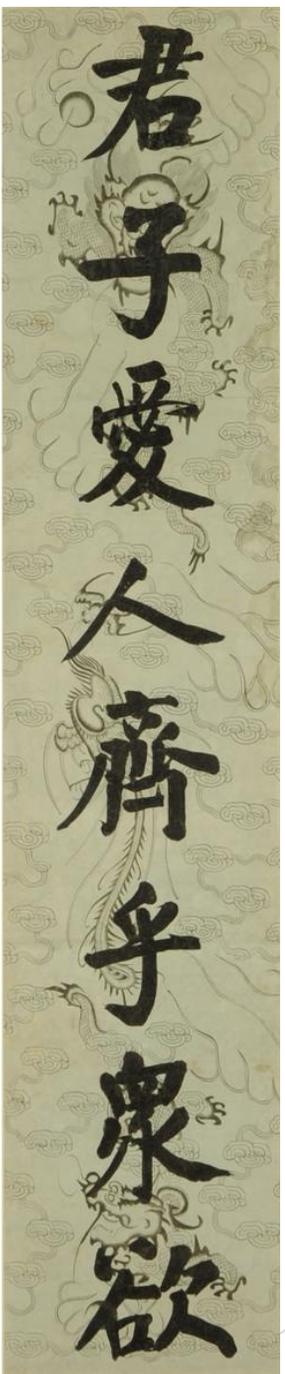
本作は、顔法の結体・筆法に基づいて、剛毅かつ沈着に揮毫された壮年期の対聯作品。吉祥図案が施された華麗な蠟箋も見どころである。



顏氏家廟碑



翁同龢の楷書作品



君子は人を愛し 衆の欲するところを齊しくする乎
志士は業を脩め 一誠を所恃す

落款は「叔平」

尊俎楷書對聯

尊俎千峰笙簧萬籟

寅生大兄大雅屬書

漁獵三史紛綸六經

瓶生翁同龢

制作年不詳（68歲以降？）

晚年期

203.6 x 40.6 cm

尊俎千峰笙簧萬籟

寅生大兄大雅屬書

漁獵三史紛綸六經

瓶生翁同龢

尊俎千峰笙簧萬籟

(蘇東坡詩集卷四十六)

王氏生日致語口號)

漁獵三史紛綸六經

(北齊·陳 徐陵 文)

号は「瓶生」

尊俎千峰 笙簧萬籟

寅生大兄大雅屬書

漁獵三史 紛綸六經

瓶生公羽同蘇

制作年不詳 晩年作

濃い橙色の染め紙に金箔を散らした豪華な紙に書かれています。一文字の大きさは二〇センチほどの堂々とした六朝風楷書です。顔法を基礎としながら、北碑や古典を融合した書法です。

尊俎千峰笙簧萬籟

寅生大兄大雅屬書

漁獵三史紛綸六經

瓶生翁同龢

この作品の見どころは、右幅の

「竹冠」と左幅の「糸偏」の変化です。

連続する同じ部首の形に変化をつけるこ

とで、流れを作っています。

3 / 翁同龢 作品

“楷書以外”

太華奇觀萬古積雪

古宜二見

廣陵妙境八月驚濤

翁同龢

翁同龢

行書八言對聯

四字一句



廣陵妙境八月驚濤

翁同龢

太華奇觀萬古積雪

右宜之兄



翁同龢

行書八言對聯

一幅の寸法

171.5×40.0 cm



廣陵妙境八月驚濤

翁同龢

太華奇觀萬古積雪

右宜之見



翁同龢關連年表

咸豐帝	慈禧皇太后	同治帝	光緒帝	翁同龢	事項	作品編年
(側妃 西太后)	(西太后)	(西太后的子)	(西太后的甥)			(?は制昨年不詳)
1831生 ↓ 1861没	1831生 ↓ 1908没	1856生 1861即位 ↓ 1875(19歳)没	1871即位(4歳) ↓ 1887~親政 ↓ 1908没	1830生 ↓ 1856 27歳 ↓ 1868 38歳 ↓ 1882 52歳 ↓ 1895 65歳 ↓ 1898 68歳 ↓ 1904没 75歳	状元 国子監祭酒 同治・光緒帝師傅 軍機大臣 總理大臣 失脚 帰郷	?高風対聯 1870行書团扇 ?行書四屏 ?行書蘇軾答范夢詩 1882書冊三品 ?君子対聯 1889行書横披 ?寿一字 ?太華対聯 ?尊俎楷書対聯 ?人情行書対聯 ?帯径行書対聯 1901瓶水齋語行書軸 1901張遷碑四屏

翁同龢

行書八言對聯

ろうせん
豪華な 蠟箋



廣陵妙境八月驚濤

翁同龢

太華奇觀萬古積雪

右宜之見



翁同龢

人情閱遍秋雲厚

世路經多蜀道平

瓶庵翁同龢

古帖時翻勤婦木

春花未禁自招蜂

暖風何似甚

何紹基

翁同龢

希徑鋤綠野

留露釀黃花

松禪居士同龢

日之
花散影

風軟
為芳痕

康有為

康有為

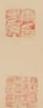
康有為

康有為 1858～1927 清末民初にかけての思想家・政治家・書家。字は広廈、号は長素。出身地は広東であるので康南海とも呼ばれる。光緒年間の進士で官途にも就いた。碑学の重要性を強く主張した。政治的には、西洋技術を取り入れる変法を主張し、光緒帝や翁同龢とクーデターを企てたが露見し、日本に亡命した。

日
之
花
散
影

風
軟
如
芳
痕

康有為



第徑鋤綠野

留露釀黃花

松祥居士日錄

人情閱遍秋雲厚

世路經多蜀道平

瓶庵翁日錄

華陰居士古陳摶手弄梅花過
歲寒半世雄心磨劍具一鏡老
眼借書看登山臨水年已別嫁
婿男事已難賴有九天閑話在詩
情迤邐酒杯寬 采瓶水齋語

辛丑十二月 瓶廬翁同猷



顏真卿 争坐位帖

聞之端揆者百寮之師長決後王先
人臣之極地今僕射挺不朽之功業
當人臣極地豈不才為世出功冠
一時挫思黜跋扈之師抗迴結去

華陰居士古陳擣手弄梅花過
歲寒半世雄心磨劍具一鑑老
眼借書看登山臨水年已別嫁士
婿男事之難賴有九天閑話在詩
情迤邐酒杯寬 采瓶水齋語

辛丑十二月 瓶盧翁同頌

若能見之領之察山水之高深會禽
魚之飛躍適志怡神隨機自得
無非靜中之趣也

何紹基

何紹基

領之察山水之
隨適志怡神

山臨水年已別
賴有如此天閑
語在

不才為世出功冠
處之師抗迴蓬

楊峴 臨礼器碑陰

東海傳河東臨汾敬謙字季松干左尉北海勳趙福
字仁直五百司徒掾魯業壽文后三百相守史薛
在芳伯道二百 昌頌仁名法宗讓者弟楊峴

韓明府名勅字尉節 穎川長社王君
真二百 相主簿魯薛陶元方三百 河東大
陽西門儉元節二百 相史魯周乾伯儉三百

京兆尹勅臨都水掾霸陵杜遷市石
遺書佐新豐郭香察書射者穎川
邯鄲公脩蘇張工郭君

麈尾大布之衣糲糶蔬菜之
食蓬戶第宇棧樞覽牖

尚書五教君隆其恩詩云
愷悌君垂其仁

此碑以東里潤色四字全者為
古拓然張君之續以寬仁為本
故樂書之 辛丑陰夕翁同龢

君昔在蜀池循嶠嶽之道德治精
通致黃龍白鹿木連理之瑞故
圖畫其像

西映公

まとめ

翁同龢は、顔真卿書法を基調としながら、北碑や古典ばかりでなく、同時代の優れた書家の筆法を進取し、真摯に書に向き合った人である。